

文化芸術の力を活かした「美の滋賀」づくり －滋賀の「美」の魅力を県民自らが伝える舞台をつくる取組について－

1. 滋賀の「美」の魅力を県民自らが伝える舞台をつくる取組について

滋賀県では、県民が滋賀の美の魅力を知り、その「美」を育み、守ることにより、県民の誇りづくりや滋賀のブランド力向上、地域の活性化を図る「美の滋賀」づくりを推進している。推進に当たっては、3つの取組の柱を基に県民や民間団体などが主役となって活躍いただけるよう取り組んでいる。

- (1) 県民や関係者とともに「美の滋賀」の土壌をつくり、活動を活発化させる
- (2) 新生美術館をつくり、地域や現場と交流しながら発信する
- (3) 滋賀の「美」の魅力を県民自らが伝える舞台をつくる

この中で、「(3) 滋賀の「美」の魅力を県民自らが伝える舞台をつくる」においては、①県民自身が地域の美の魅力を発見し、歴史や背景を理解しながら、自分たちの声で魅力を伝える舞台をつくるとともに、②県民をつなぐ新しいネットワーク、コミュニケーションの回路をつくり、③県民がこうした舞台に積極的に登場し、「美の滋賀」の案内人として主体的に活動するよう取組を実施している。

2. 具体的な取組

① 県民自身が地域の美の魅力を発見し、自分たちの声で魅力を伝える舞台づくり

- 「地域の元気創造・暮らしアート事業」(平成 25 年度～)

滋賀県内に所在または活動の拠点を有する民間団体等が、それぞれの持ち味を生かして、主体的に美術や暮らし・生活文化の中にある美の資源を育てたり、発信したりすることにより、美をきっかけに人と人、人と地域がつながり、地域が元気になる取組を募集し、支援を行っている。

➤ 「アール・ブリュットによる『ひと・まち・空間』形成事業」

地域の店舗や住民に協力していただき、建物の軒先などに湖北地域の福祉施設を中心に制作されたアール・ブリュットの作品を展示し、作品を介して、人とまちと空間をつなぐ取組を実施。



商店街や古い街道沿いの建物の中や軒先などで作品を展示

➤ 「おうみ映像ラボ アーカイブプロジェクト」

滋賀の伝統行事や生活記録が収められた記録映像をテーマに、県内各地で情報収集や遠足、上映会を開催し、映像を介して、時間や人をつなぎ、滋賀の人々の営みや暮らしぶりを発信する取組を実施。



地域の図書館や博物館などで8ミリフィルムを上映

● 「アール・ブリュットの魅力発信事業」(平成24年度～)

滋賀県には、福祉の歴史から生まれ育まれてきた滋賀ならではのアール・ブリュットがあり、その魅力をより多くの人たちに伝えるために、複数の施設でアール・ブリュットを常設展示する「ふらっと美の間」を実施。当初は、県立施設のみの設置であったが、平成27年度以降は民間にも協力いただき、商業施設や郵便局、銀行、旅館などに設置が広がっている。

(平成29年11月15日現在)

1	平和堂今津店	10	料理旅館 塩野温泉
2	堅田郵便局	11	湖南市役所 東庁舎
3	里湯昔話 雄山荘	12	近江守山郵便局
4	おごと温泉 びわ湖花街道	13	八日市郵便局
5	滋賀銀行本店営業部	14	ファブリカ村
6	日本生命保険相互会社 滋賀支社	15	大阪ガス総合ショールーム DILIPA 彦根
7	滋賀県庁	16	ミシガン州立大学連合日本センター
8	イオンモール草津	17	ヤンマーミュージアム
9	龍谷大学 瀬田キャンパス	18	尾上温泉旅館 紅鮎

② 県民をつなぐ新しいネットワークづくり

● 「アール・ブリュット振興事業」(平成24年度～)

美術、福祉、医療、研究機関、行政等、各分野の関係者間の交流を促進し、各活動の課題解決につなげ、アール・ブリュットを支える環境全体の底上げを図り、その動きを広げていくため、全国ネットワークを設立。

フォーラムや会員交流会を開催するほか、アール・ブリュットに関するメールマガジンを発行し、分野や地域を超えたネットワークづくりを推進。



先進的な取組を行う団体や施設等を視察し、その後、意見や情報を交換する会員交流会

- 「糸賀一雄記念賞音楽祭」(平成 13 年度～)

福祉関係者や音楽関係者、県で構成する実行委員会により、障害のある人やプロのミュージシャン、地域のジュニアオーケストラなどが協働する音楽祭を開催。歌や打楽器演奏、ダンスなど、各地域で主体的にワークショップを展開する環境を整備し、地域や障害の有無を越えた交流が育まれている。



障害のある人たちによるダンスのステージ

③ 「美の滋賀」の案内人として主体的に活動する取組

- 「地域の元気創造・暮らしアート事業」(再掲)(平成 25 年度～)

- セイアンアーツアテンション「MUSUBU SHIGA 空想 MUSEUM」

隠れた滋賀のブランド力にスポットを当て、学生自身が地域で丁寧にリサーチした滋賀の魅力を、「美」を切り口に新たに編集し、展覧会やワークショップ、トークイベント等を通して県内外に発信。滋賀県をフィールドとして未来へつないでゆくべきカタチを学生が考え、提示する取組を実施。



学生のリサーチをもとに大学のキャンパスを美術館に見立てた展覧会

- 「滋賀の美と祭りのこころを伝える人づくり事業」(平成 29 年度～)

それぞれの地域で文化財を守り伝えていく意識の醸成を図るとともに、県民による歴史文化の発信活動につなげるため、地域の文化財の現地講座等を実施。



講師らとともに地域の文化財探訪やお寺での現地講座を実施